

事前評価個表

整理番号	51
------	----

地域（地区）名	<small>ひだがわ</small> 飛騨川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	下呂市ほか8市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>飛騨川森林計画区（以下「計画区」という。）は、岐阜県の中央東部に位置し、美濃加茂市、加茂郡、下呂市の2市6町1村から構成されており、標高3,000mの霊峰御嶽山から標高60mの平野部までの大きい高低差を持つ、南北に長い地域である。</p> <p>計画区の森林面積は、計画区の総面積の86%に当たる132.0千haで全県下森林面積の15%を占めている。このうち、国有林が25.2千haで19%、民有林が106.8千haで81%を占めている。</p> <p>県全体と比べ、ヒノキの占める割合が高く、豊富なヒノキ資源を保有していることが特徴である。人工林のうち間伐等の保育が必要な7齢級以下の森林は30%を占めており、偏った年齢構成となっている。</p> <p>現在の森林・林業を取り巻く情勢は、木材自給率及び材価の低迷、林業従事者の高齢化等、厳しい状況にあり、森林の整備状況は低調で、森林が本来持つ国土保全、水源かん養等の公益的機能を十分に発揮できていない。</p> <p>このような状況を踏まえ、本計画区では森林の整備にあたって、飛騨川地域森林計画で定める方針を基本として、多面的機能を発揮する森林整備を推進することとする。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：13,714ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：4,379,000千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.69 (総便益(B) = 31,495,853千円、総費用(C) = 5,526,169千円)</p>
評価結果	<p>必要性：対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐を中心とした森林施業を効率的に推進することにより、優良材の安定的な生産に繋がりが、また森林の持つ公益的機能がより高度に発揮されることになり、有効性は高い。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

岐阜県

地域名: 飛騨川

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,819,308	
	流域貯水便益	2,906,059	
	水質浄化便益	4,961,218	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,204,307	
	土砂崩壊防止便益	383,514	
環境保全便益	炭素固定便益	5,001,552	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	5,219,895	
総 便 益 (B)		31,495,853	
総 費 用 (C)		5,526,169	
費用便益比	$B \div C = \frac{31,495,853}{5,526,169} = 5.69$		

